

確 認 事 項 (平成29年度)

1. 運営は各チームの代表者で行い、各部A・Bブロック1位チームの代表者がそのブロックの責任者となる。
2. 試合は2複1単とし、選手の重複出場はできない。勝敗決定後の第2複も行う。
3. 登録名簿の選手変更は事務局に必ず連絡すること。登録後は他チームへの登録はできない。
4. 試合開始時刻は午後7時30分までとする。午後7時30分に4名未満の時には棄権負けとする。また、4名の場合には単を棄権して試合を行う(両チームとも4名の場合には、単の勝敗を抽選にて決める)。体育館の利用可能時間は、片づけを含めて午後10時までなので、試合が成立しない場合は、その試合以降を再試合とする。
5. 再試合は予備日に予備コートで実施し、試合結果の報告は勝者の責任者が行うこと。
6. 試合中はバドミントン競技に適したウェア(日本バドミントン協会審査合格品が望ましい)を着用すること。ジーンズ等のプレーに不向きなものは禁止する。
7. (1)各リーグ戦の順位は勝ち数により決定する。(2)(1)が同数の時は勝ポイント・負ポイントの差によって決定する。(3)(2)が同一の場合は対戦勝者を上位とする。(4)(3)でも決定できない(三つ巴状態)の場合は、『直前の順位高位順』とする。①リーグ戦結果においては年度当初順位上位 ②順位戦結果においてはリーグ戦順位上位[Aブロック(上位)>(下位)Bブロック])とする。
8. 審判(主審・線審)は、対戦する両チームで行い、代表者の責任のもとで試合を行う。試合で使用するシャトルは両チームの持ち寄りとする。シャトルは(公財)日本バドミントン協会検定合格球、または検定合格球と同程度の品質のものとする。
9. 試合予定日に不都合で対戦できない場合(午後7時30分の時点で両チームとも4名未満の場合を含めて)は、相手チームと協議して試合を実施すること。
10. 各ブロックのリーグ戦において、無断で4回以上棄権したチームは所属ブロックの8位とし、その後の順位決定戦にも出場できない。
11. 順位決定戦において各部で15位・16位になったチームは、次年度のリーグ戦では下部の1位・2位のチームと入れ替わる。チーム数の減少があった場合にはこの限りではない。
12. 大会に関わる事故・傷害について主催者は責任を負いません。各自で傷害保険に加入することをお勧めします。

試合当番の仕事について

試合当番は各部A・Bブロックとも1位チームと対戦するチームとする(試合日程表では1コート欄の下段チーム)。順位決定戦でも同様(1コート欄の下段チーム)にする。

【試合前の仕事】

1. 体育館事務所受付に利用を申し出て、ブロック分の試合用ネット4張りを借りる。
2. ネットを各コートに配り、コート設営ができるようにする(コート設営は各チームで)。
3. 各コートに、オーダー用紙・審判用紙を配布する。

【試合後の仕事】

1. 試合結果をプログラムの勝敗表へ記入する(3対0で勝ったときには「○ 3-0」、1対2で負けたときには「× 1-2」)。
2. 「当番用ケース」(茶色または黒色の箱)を次回の当番に渡す。渡すことができない場合は次回に必ず持参する。リーグ戦最終戦では各ブロックの1位チームに戻す。
3. ブロック分のネット4張り(きれいにたたんでください)を回収して、体育館事務所に返却する(コートの片付け、モップがけは各チームで)。
4. 試合結果の報告係は各部A・Bブロックとも1位チームの代表者とし、結果は翌日までに電子メールにて連絡すること。順位決定戦においては、試合日程表の1コート欄の上段チーム(各部Aブロックでリーグ戦の結果、1位・5位になったチーム)が行ってください。

E-mail: k i r i 3 t 4 d @ r o a d . o c n . n e . j p (桐原 浩)